

## フローズンマシン 毎日の洗浄手順

### ～用意するもの～

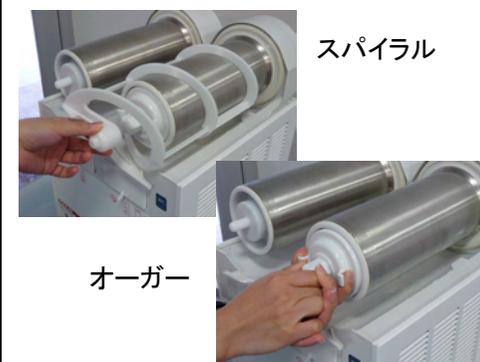
- ・ボウル(フローズン抜き用)
- ・水差し ・バケツ
- ・食品用グリス



フローズンをとりきった後、  
電源を切り、ぬるま湯または  
水などで通し洗いをします。



ボウルのノズル側を持ち上げ、  
固定用フックを外してから  
ボウルを水平方向に引き出し  
ます。



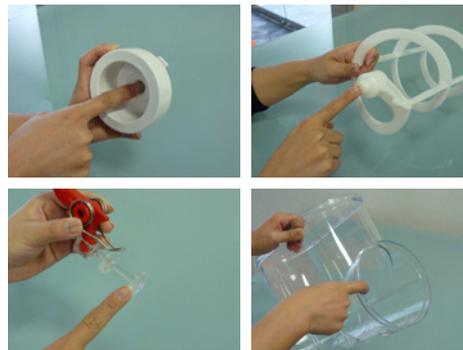
スパイラルを引き抜いてから  
オーガーを両手でゆっくりと  
引き抜いて下さい。  
(強力マグネットで付いています)



一番奥にあるパッキンも忘れず  
に外し、本体・筒などは  
中性洗剤やアルコールなどで  
本体にかからないように洗浄  
します。  
※洗剤は薄めてご使用下さい。



分解した部品を洗浄後、流水  
ですすぎ、洗浄液をしっかりと  
洗い流して下さい。  
(パーツは全部で6点です。)



組み立ての前に写真の箇所へ  
食品用グリスを薄く塗布  
します。

※部品磨耗防止・異音防止の為。

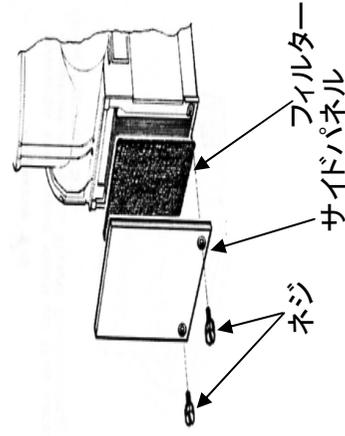


分解と逆にパッキン・ハネ・  
ボウルの順に取り付けます。  
固定用フックはしっかりと取り  
付けて下さい。

**これで洗浄完了です。**

### フィルター取外し手順

- ① 製品正面より右側にフィルターがあります。
  - ② サイドパネル下側のネジを2個外してください。
  - ③ サイドパネルを外してください。
- ※ 板金部品の端が鋭くなっている場合がありますので、必ず手袋をはめて下さい。



\*mini-1は背面にあります。

### ご使用中

◎フローズンをご使用の場合(冷却スイッチⅡ側)

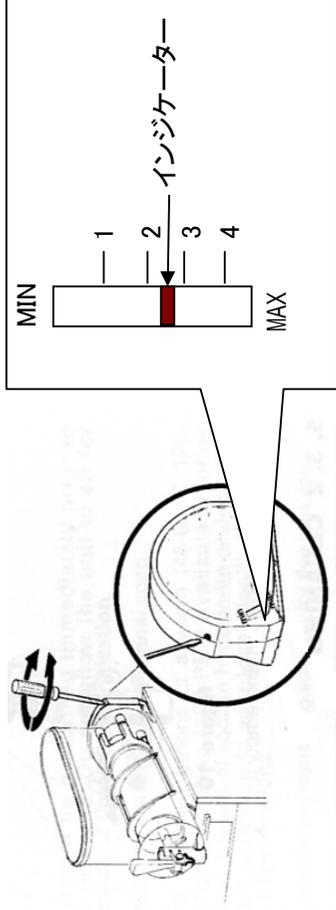
#### 1.フローズンの抽出

ハンドルを手前に倒しますと、ノズルよりフローズンが出てきますので適量をカップに出してください。

#### 2.フローズンの粘度調整

製品背面(下図)でマイナスタライバーにて調整が出来ます。

- 粘度を高くする場合: 右回り(時計回り)に回すと粘度が高くなります。(インジケーターの位置を下げる)
- 粘度を低くする場合: 左回り(反時計回り)に回すと粘度が低くなります。(インジケーターの位置を上げる)



注) 粘度の初期設定は

工場出荷時に設定してあります。

#### 3.フローズン冷却時間の短縮

フローズンが冷えやすくなる為のヒント

- ・フローズンマシンに投入する前に、フローズンの原料を予め冷やしておく効果があります。

※フローズンを冷やして固める為の時間は、周囲温度、フローズンの初期温度、フローズンの糖度、設定粘度などの多くの要因で変わりますので、ご了承ください。

#### 4.ご使用中の注意

- ボウル内に凍結したフローズンがある場合には、冷却スイッチをOFFにしないで下さい。

冷却スイッチをOFFにするとかくはんが停止して、フローズンが氷のブロックになる場合があります、この時に再びかくはんさせるとモーターが損傷する恐れがあります、この場合にはフローズンが溶けるまで冷却スイッチをONにしないで下さい。

- フローズンの残量が2リットル以下(シリンドラーが半分フローズンで隠れる程度)にならないように、原料を都度追加下さい。